

2021年8月17日(火)
13時30分～15時30分
豊岡調査報告会
豊岡市役所
(オンライン参加)

放課後児童クラブ 聴き取り調査報告

白鳥義彦 (神戸大学)

本報告の構成

【調査の概要】

【生活の場としての放課後児童クラブ】

【入所について】

【学校との関係】

【家庭との関係】

【児童クラブの様子】

【まとめ】

【調査の概要】

豊岡市には現在、全小学校区に、32か所の放課後児童クラブがある（複数開設されている小学校区もある）。

<https://www.city.toyooka.lg.jp/kosodate/hoikujoyochien/jidoclub/1012480.html>

（五荘小学校と奈佐小学校（⇒五荘小学校へ）、港西小学校と港東小学校（⇒港小学校へ）の小学校統合により、2020年度と比べて2か所減少）。

このうち4か所で、2020年11月に聴き取り調査を実施した。

外国にルーツを持つ子どもは他の児童クラブにも在籍していると思われるが、今回は日程等の面で実施が可能であった児童クラブでヒアリングを行っている。

【生活の場としての放課後児童クラブ】

豊岡市内の小学校に就学する放課後留守家庭児童が対象。学年が上がると利用しなくなる（下校後帰宅する）全般的な傾向はあるが、おおよそ三分の一くらいの児童が利用している。特に低学年の児童においては生活の重要な場と言える。「遊びを中心とした放課後の生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的とした保育事業」（HP）

【入所について】

1 1月の次年度利用の申請時に申請した子どもは入所できるようにしている。

この申込み期限に遅れた場合、対応に困ることもある。小学校の入学案内（2月頃）の方が、放課後児童クラブの入所申込みよりも遅い時期なので、小学校の入学案内の時に入所申込みをすれば良いと思っていたと言われることもある。

数年前から、認定こども園等を通じて入所案内を配布するようにしている。

聴き取りのなかでも、中途からの入所のケースはあった。

【学校との関係】

小学校の敷地内あるいはすぐ近くに開設されていて、何か問題があるような場合には、学校と緊密に連絡をとり合っている。

【家庭との関係】

迎えは保護者が来るので、そこで児童クラブと保護者との接点ができる。

長く話をする保護者がいる一方で、すぐに帰宅していく保護者もいる。

着替えの準備、食事やおやつについての話などから、家庭での生活の様子を伺い知ることができる。ただしそうした様子も、外国にルーツをもつためだというところには、必ずしも安易に結びつけることはできないだろう。

【児童クラブの様子】

児童クラブとして、外国ルーツの子供がいるからということ、特別なことはしていない。「放課後の生活の場を提供」するということ、子どもにとって安心・安全な居場所となることが基本線として最も求められることである。

宿題をする時間は設定されているが、それぞれの子どもに任せていて、教えるということも基本的にない。

しかし、聴き取りで話を伺うと、それぞれの子どもや家庭の様子について把握しておられるということはよくわかる。

【まとめ】

- ・放課後児童クラブは、学校以上に生活の場。
- ・学校とは違い、学習面が問題となるというようなことはない。
- ・小学校入学前に案内を配布するなど、利用が必要な子どもが利用できるように対応している。
- ・外国にルーツがあるということで、特別な行事や、特別な対応をするということはない。
- ・それぞれの家庭の状況も、外国にルーツがあるということには単純には結びつけられない。
- ・保護者が毎日お迎えに来るので、何か問題があるという時に、その接点からそれを知るきっかけとはなり得る。（家庭、学校に加えた第三の日常的視点）